

7月号, 2011.7.7
Vol.42

Morishita-News

www.tanigawa-koubou.com

谷川工房のホームページをのぞいて見てね。ブログもね!



P2:社長のひとこと

P3:暮らしのアイデア

P4:地震に強い家づくり



特集

安心・安全な住まい!

地震に強い家づくり

●すべての建物で

「耐震」は非常に重要な要素

「耐震」の代表的な例としては、2×4(ツーバイフォー)工法やパネル工法で壁や床を強化することが有名です。そのほか、柱と柱の間に対角線上に斜めに筋交いを設けることで三角形の構造を作り、建物全体の強度を向上させる手法などがあります。

●地震対策でよく聞く

「耐震」「免震」「制震」の3つの技術とは建物の地震対策として、よく耳にするのが「耐震」「免震」「制震」の3つのキーワードです。

どれも地震に対する技術のことを指しますが、簡単に説明すると、「耐震」は地震の力を受けても破壊しないように建物を丈夫にすることを指し、「免震」は地震の力を建物に伝わらないようにすること、「制震」は建物の揺れを抑制するため、建物自体に震動エネルギーを吸収する装置を設置することをいいます。

耐震補強リフォームの場合では、筋交いを追加して強度を増すという工事をする場合が多く見受けられます。「免震」や「制震」は比較的最近出てきた技術ですが、「耐震」は住宅に限らず、すべての建物で非常に重要な要素だといえます。いっぽう、「免震」は基礎部分に免震装置を設置して震動を吸収する構造で、地盤からの揺れを伝えないようにするものです。ビルやマンションなどの大型建造物に導入されることが多いですが、導入コストが高いことや、住宅は建物の重量が軽いため難しいとされています。

●頑丈なFPパネルで

建物全体を箱形の一体構造に

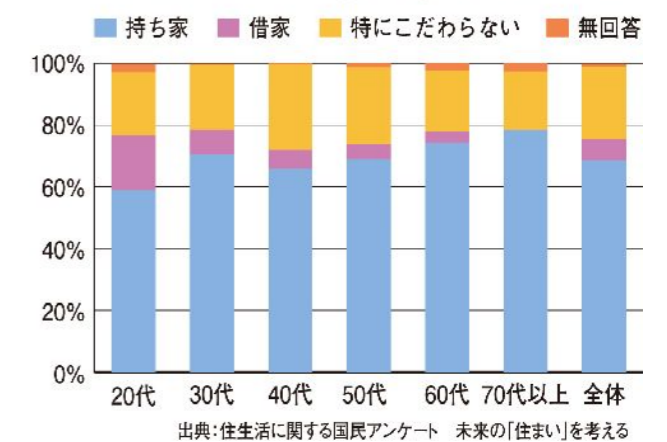
「FPの家」は、断熱性や気密性の高い硬質ウレタンと軸、パネル、筋交いなどが一体となっているFPパネルを建物の壁に組み込むことで頑丈な壁構造になっています。そのため、壁全体で外から加わる地震などの力をしっかりと受け止めることができます。このFPパネルを床としっかり固定することで、建物全体が箱形の一体構造となります。1カ所に外部からの力が一点に集中することがないため、壁の変形も少なく、一般住宅よりも耐震性に優れた構造になっています。また、FPパネルには製造時に難燃材が混合されていることなどにより、地震などが原因で起きる火災に強いこともポイントです。震災対策がしっかりしている家は安心できるもの。みなさんもぜひ、これを参考に地震に強い家づくりを実現してください。

なるほど! 納得ノート

賃貸住宅よりも持ち家が理想

賃貸住宅と持ち家のどちらが得かを比較する話をよく聞きます。家賃や更新料、敷金、礼金、共益費などの諸経費がかかるとはいえ、賃貸住宅は好きな場所で住み替えも自由という気軽さが魅力です。それに対して持ち家は、多くの場合、住宅ローンで購入しますから、借金をしなくてはなりません。しかし、持ち家の場合は、住宅ローンが終わると負担が急に軽くなるため、老後の年金生活を考えると安心という利点もあります。理想の住まいのアンケートでは、各年代を通して圧倒的に持ち家派が多いようです。

住生活に関する国民アンケート 「理想」の住まいの形態



編集後記

by くさっち

未来の分かれ道にいる日本。脱原発となることはできるのでしょうか。自然エネルギーへの関心は、地球規模でもすごい勢いとなっております。そして浜岡原発の停止によりこの夏の節電対策。くさっちもグリーンカーテンとしてゴーヤのほか朝顔、ふうせんかずらの種をまきました。家庭での節電対策は待機電力の見直し、TVは見えてないなら切る、照明も2個を1個に減らすなど些細なことから始めています。他に何かあるかな...

有限会社 谷川工房

定休日 毎週水曜 日曜

〒513-0009
三重県鈴鹿市中富田町380番地
TEL 059-378-3700
FAX 059-378-2478

フリーダイヤル 0120-059-340
HP tanigawa-koubou.com
Mail t-koubou@mecha.ne.jp